

まちかど アルバム

若桜・智頭街道など

元気、躍動、華麗 【第41回鳥取しゃんしゃん祭り】

8月16日(火)、「新しいまち鳥取を結ぶ いなばの夏まつり 鳥取しゃんしゃん祭り」をテーマに、第41回鳥取しゃんしゃん祭りが合併して初めて行われ、10万人を超えるたくさんの人が鳥取の夏の風物詩に酔いしれました。踊り子連は69、約3500人のみなさんが4時間にわたり元気いっぱいに踊っていただきました。また、今年は合併した旧町村から特産品などを持ち寄った屋台村も出店し、お祭りの盛り上げに一役。この祭りを通して、市民のみなさんの笑顔は新しいまちの活力にあふれていました。踊り子のみなさん、祭りにお越しくださったみなさん、そして、祭りを裏で支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。



国府町成器地区公民館など

成器から夢発信！ 「わったいな！いきいき成器総寄り愛」開催

7月30日(土)、成器地区をアピールし地域のきずなを深めようと、「わったいな！いきいき成器総寄り愛」が開催され、さまざまなイベントに約800人が参加しました。その中の一つ、成器わくわく探検隊では、工事中の殿ダム仮排水路トンネル内で、参加者が壁面に思い思いの文字やイラストを書きました。トンネルが完成すると書き込みは見えなくなってしまうそうですが、参加者は「貴重な体験ができた」、「よい思い出になる」と喜んでいました。



気高町船磯海岸、浜村温泉街など

気高の夏「貝がら節祭り」

8月5日(金)と6日(土)の2日間、気高町地域最大のイベント「貝がら節祭り」が行われました。海の幸を炭火で豪快に焼く荒磯焼きは、用意した300食があっという間に完売。続いて行われた水中大花火大会では、砂浜のかがり火と水平線に輝くいさり火に包まれた日本海に打ち上げられた花火が、多くの観客を魅了しました。また、6日の「貝がら節総踊り」には18連、約1000人の踊り手が参加し、2日間にわたる祭りは幕を閉じました。



中ノ郷中学校など

清州市と鳥取市の中学生が文化交流

7月25日(月)から28日(木)にかけて、姉妹都市の韓国清州市^{チョンジュ}の中学生と鳥取市の中学生との文化交流事業が行われました。歓迎式典の会場となった中ノ郷中学校では、鳥取市の伝統芸能である傘踊りや貝がら節踊りなどを披露。そのあと生徒たちは、鳥取砂丘の見学、山陰海岸の遊覧、鹿野町でのそば打ち体験などを通して、次第に打ち解けていきました。さらに、2泊のホームステイも行われるなど、生徒だけでなく家族ぐるみの交流となりました。

